

貳
年
2021

社長年頭挨拶 NEW YEAR GREETING

明けましておめでとうございます。今年はコロナ禍の中、例年と全く異なった環境での年明けとなりました。一方、毎日のようにニュースで耳にする2つのキーワードを軸に時代の変化を体感することとなりました。即ち、脱炭素とデジタル化です。

脱炭素については、政府が2050年にカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。また、それに呼応して沖縄電力は「再エネ主力化」、「火力発電のCO₂排出削減」を軸とする「沖縄電力 ゼロエミッションへの取り組み～2050 CO₂排出ネットゼロを目指して～」を発表しました。当社は従前より経営理念として、「先端的エネルギーサービスで地域社会に貢献する」を掲げ、事業を推進してきました。当社は現在、化石燃料の中で最も環境負荷の低い天然ガスの供給、また高効率ガス設備を初期投資ゼロで提供するエネルギーサービス事業、そして可倒式風車、太陽光などの再生可能エネルギー事業を展開しています。

現在のカーボンニュートラルに向けた動きは、当社の事業推進に大きな追い風となります。またとないビジネスチャンスであると共に、参入者も増え競争も更に厳しくなることは間違ひありません。是非、当社の役職員の一人ひとりが一騎当千のエネルギーのプロフェッショナルとして、不断の努力によって一層のレベルアップを図り、また、お客様との信頼関係をより強固なものとし、お客様に選んで頂くことにより当社経営理念の実現を目指すことを期待します。

デジタル化については、政府は首相直轄で省庁横断的にデジタル化を推進するデジタル庁の創設を目指すと発表しました。当社においても、昨年、RPAの導入を実施し、多くの業務で作業の効率化を図ることができました。現在も引き続き更なる業務の効率化を目指し、RPAの対象となる業務の拡大を検討しています。また、デジタル化の取り組みを一層深化させるため、若手メンバーを中心にDX推進ワーキングチームを立ち上げました。昨年11月のキックオフミーティングに私も陪席しましたところ、活発かつ斬新な意見が続出し、今年は素晴らしい成果が出る予感を持ちました。業務の効率化にとどまらず新たなビジネスモデルの創出を目指し、チームのメンバーだけでなく全社的に総力戦で取り組んでいきましょう。

最後になりますが、コロナ禍の一刻も早い収束と、今年が皆さまにとって素晴らしい年となることを祈念します。

代表取締役社長

秦 好男



謹賀新年
正月

本社屋前にて

1月号
Vol.09
発行:2021.1

社員紹介

技術営業部 電機課 課長
津波古 利章
(つはこ みちあき)

1996年3月 琉球大学 工学部
エネルギー機械工学科卒
同年4月 沖電企業(株)入社
2005年7月 同社より出向
2014年1月 同社から転籍



トンガにて現地スタッフへの取扱説明(本人左)

2014年の転籍後は、LNG事業開始、多良間島での可倒式風車建設・JICA調査案件を同時進行で進めていかねばならず、目まぐるしく変わる業務内容を処理するのが精いっぱいでした。現在は社員も増え漸く落ち着いて仕事ができる状況です。

Q4. 趣味は何ですか?

Q1. 担当業務について教えて下さい。

自家用発電機と可倒式風車のメンテナンス業務・太陽光発電設備の運用とメンテナンス業務の業務管理及び可倒式風車の提案活動が主要業務です。

Q2. 仕事を進める上で気をつけていることは何ですか?

お客様が何を求めているかをいつも考えて、できる限り対応しています。

Q3. 出向時、転籍後の思い出を教えて下さい。

出向した年の冬に金武町の一般家庭のエネルギー需要調査の測定機器取付の際に、現場到着後、同僚と寒いなあと話していると霰が降り、悴む手で作業したことが良い思い出です。

当社業務紹介

《第5回目》

[技術営業部 ガス業務課] 移動式ガス発生設備(PA-13A)の導入について

当課では地震、津波その他非常事態の際に当社ガス工作物(サテライト設備、導管)の破損などによりガスの供給が行えない状況に備え、移動式ガス発生設備(供給能力 50Nm³/h、送出圧力 0.15MPa)を11月に導入しました。本設備はプロパンガスを空気で希釈したPA-13ガスを製造することができ、天然ガスとは成分が異なりますが、13Aガス用の機器を改造なしに使用することができます。



▲ガス臨時供給設備(PA13A) 全体写真



技術営業部 比嘉ガス業務課長より

本設備を使用するがないように日頃から整備及び訓練を行っておりますが、もしもの際にもエネルギーの供給が絶えないよう、設置訓練、輸送訓練などをお客様及び協力会社様と連携して進めて参ります。



▲11月18日の設置訓練の様子

編/集/後/記/

◎12月18日から中城村商工会主催による恒例の年末年始イルミネーションが吉の浦公園近くの花と緑のふれあい広場で点灯し、華やかな光影に隣の保育園の園児たちも大喜び…。PECメンバーも中城村に移転して以降、毎年ボランティアでイルミネーション設置作業に参加しています。今年も1年間よろしくお願いします。(MH)

◎11月28日に、沖電グループ主催の浦添西海岸清掃活動に娘を連れPECメンバー8人と共に参加しました。当社の担当場所はカーミージー橋下の海岸線。岸側は米軍施設キャンプキンザーというロケーション。普段は立ち入ることのできない場所での清掃活動でした。当日は少し肌寒かったものの気持ちの良い汗をかきました。(YG)

1

【トピックス】

(株)ざまみダンボール様安全祈願祭

(株)りゅうせき様が設置された(株)ざまみダンボール様向けLNGサテライト設備の安全祈願祭が10月19日に開催され、当社から社長、平良主務が参列しました。



▲LNGサテライト設備前にて

前列左より 沖縄電力成底常務、本永社長、(株)ざまみダンボール座間味歎会長、座間味一朗社長、(株)りゅうせき當銘社長、尚専務 後列左より 3番目当社社長

3

【社内WG】

DX推進ワーキンググループ発足

当社では、これまでRPA導入を進めると共にテレワークに対応したインフラ整備を実施してきました。

今後、エネルギー事業者として、一層の成長を図るため、全業務を見直し、デジタル化の可能性を検討するため、11月20日「DX推進ワーキンググループ」を設置しました。



▲DX推進ワーキングの様子



▲DX推進ワーキングメンバー

前列左より 儀間課長代理、渡慶次司課長代理、川上主任
後列左より 豊川主任、西野担当、佐々木課長

2

【訓練】

防災訓練

11月18日に防災訓練を実施しました。訓練は沖縄電力(株)による総合防災訓練と連携し、午前9時に沖縄本島地方で震度5強の地震が発生し、大津波警報が発表され、30分後に津波の第1波が到達した想定で行われました。

当社所有の天然ガスサテライト設備で停電が発生し、非常用発電機も起動不調でガス供給が停止したという想定で、ガス臨時供給設備の運搬、実働訓練を実施しました。



▲ガス臨時供給設備の運搬作業の様子

4

【国家資格】

ガス主任技術者 甲種4名合格

ガス主任技術者甲種に、当社から4名が合格しました。今年の甲種は合格率10.5%、全国の合格者数は279名(うち沖縄県を受験地とした合格者5名)でした。



▲左より 平良 隆一郎さん、西浜 宏治さん、宮平 全都さん、渡慶次 司さん

5

【トピックス】

神里叶夢さん新成人おめでとう

1月4日、当社として初の成人式を行いました。式では社長より、「これまで育てて頂いた方への感謝を忘れないで頂きたい。将来は当社のエースとして飛躍することを期待します」との挨拶がありました。

◆◆ 神里 叶夢さんより ◆◆

健康で不自由のない生活で迎えることができ、育てて頂いた家族、友達、そしてPECの皆さんに感謝申し上げます。今後は、率先して業務に取り組み、後輩を指導できるよう努めます。



2020年プログレッシブエナジー5大ニュース

1. 天然ガス供給事業開始5周年

2015年5月1日のアワセ天然ガス供給センターからのイオンモール沖縄ライカム様向け供給開始以来、病院、ホテル、工場などへ供給し昨年で5周年を迎えました。昨年は新規に2社への供給を開始、また昨年末にはLNGタンクローリー出荷3,846回を達成するなど、天然ガス供給事業は着実に拡大しています。



▲左より (株)りゅうせき山北さん、沖縄電力吉の浦火力発電所仲原所長、当社社長、楚南担当

2. テレワーク導入

新型コロナウイルス感染症対策のため、当社として初のテレワークを4月より導入しました。導入当初は通信速度が遅いなどの問題がありましたが、その後通信環境等も改善し事務所と大差のない環境を整備しました。



▲web会議の様子

3. ガス供給事業の安定供給体制の強化

ガス配管の工事及び修繕の体制整備を目的に、県内の工事会社5社とガス工作物工事の基本協定を締結しました。

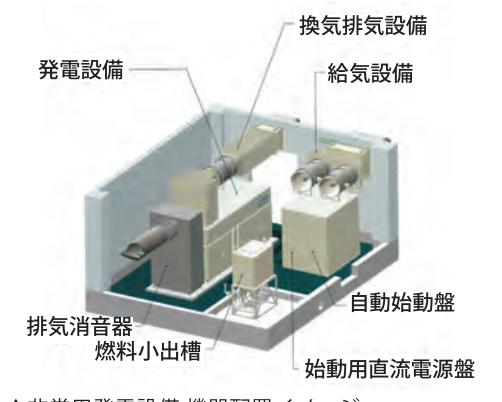
また、11月には災害等の緊急時における体制強化として、ガス臨時供給設備(PA13A)を導入しました。



▲PA13A 納入時の取扱説明会の様子



▲RPAを活用した会計モニター入力



▲非常用発電設備 機器配置イメージ

4. RPA導入

約6ヶ月間の試験導入を経て、9月よりRPAの本格運用を開始しました。会計モニターの入力作業や関係省庁への報告資料作成など、これまで人の手で行って来た作業を自動化したことにより、年間約1,000時間の作業時間削減が見込めるほか、手作業による入力ミスの回避などが図られています。

5. 石川火力発電所への非常用発電設備設置工事受注

沖縄電力石川火力発電所様からの打診を受け、仕様調整、機電メーカーの選定などを経て9月の沖縄電力(株)による設置工事及び機器購入の入札に応募し、落札することができました。

今回設置する発電設備は災害時の電力インフラのレジリエンス強化を目的としたものです。2021年11月の運用開始に向けて、関係者との連携を密にし、安全第一で工期通りに工事を完工できるよう努めます。